

- 生活支援 貝守り 協議体
- 買物支援 配達 その他
- 移動支援 居場所づくり

13 おじさんたちのうまカレー食堂



出水市 保健福祉部 いきいき長寿課

地域の概要



当該地域は、野田地区、江内地区、荘地区で一つの生活圏域を形成しており、人口は6,097人、高齢化率は42.41%である。(R6.9.1現在)
 高齢化が進んでいるが、地域のまとまりは強く、様々な事業の開催や活動への参加が積極的に行われている。

取組のきっかけ

令和元年に男性限定の「男の料理教室」同好会立ち上げ後、年4回の調理実習を実施している。令和5年6月、コロナが5類になった時、同好会で初めての懇親会を行った。その際、子供食堂が話題に上がり「年1回のカレーならばできる」と皆の気持ちが一つになった。



取組の目的

- 世代間交流（高齢者と子供たちが世代を超えて交流を図る）
- 地産地消と地域力（食材提供してくれる人・調理する人など、地域全体で子どもを育てる）
- 子どもたちの記憶に残る思い出作り



これまでの経緯

年・月	出来事
令和5年6月	年1回のカレー食堂実施提案。企画書作成し、出水保健所へ相談・助言を頂く。
令和5年7月	野田町内の農家・企業に「男の料理教室」同好会らとSCが企画書持参し、主旨説明。協力が得られる場合は連絡を頂くとする。
令和5年8月	食材提供お願いのポスターをスーパーなどに貼る。野田小学校・中学校へ「男の料理教室」代表とSCが出向き、企画書持参で主旨説明。賛同を頂き、学年を限定するなど詳細を話し合う。
令和5年9月	食材調達などの寄付が寄せられ、実施を確定。
令和5年10月	野田小学校・中学校の保護者宛てのお知らせ(案内)文書を作成し、学校側に配布依頼。「おじさんたちのうまカレー食堂」の施行を実施し、調理時間や装う量など確認。
令和5年11月	参加人数がほぼ確定し、食材調達や必要な買い物など事前準備。
令和5年12月	第1回「おじさんたちのうまカレー食堂」開催。後日、反省会
令和6年7月	第2回「おじさんたちのうまカレー食堂」開催

活動の概要

活動内容：子どもたちと高齢者で会食と音楽レクを楽しむ
 食材提供の個人や企業：12か所程
 提供食事：カレー&鶏の唐揚げ
 活動頻度：年1回
 対象者：小学生と妹弟・中学生・保護者・教職員
 参加人数：第1回目 84名
 第2回目 140名
 参加費：無料
 関わった人・団体等：
 野田小学校・野田中学校
 地域の企業及び個人
 出水市役所・野田支所
 出水市社会福祉協議会
 野田食生活改善推進協議会
 男の料理教室同好会



取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

〔行政担当者としての役割〕

- 事業内容の把握と助言及び安全確認

〔SCとしての役割〕

- 「男の料理教室」の地域貢献広報
- 男性の活躍の場の推進
- 世代間交流と達成感の機会の設定



- ♪ 音楽レクリエーション
- * ボディーパーカッション
- * よさこいで「アイドル」(鳴子)
- * ペーパーオーケストラ(新聞紙)
- * プラスチックシャワー(レジ袋)

現時点での到達点(効果・課題など)

〔効果〕

- 地域力と地域の人々の温かさを知ることができた。
- 高齢男性全員がグループラインを駆使し、時代に沿った情報共有ができるようになった。
- マスコミに取り上げられたことで、活動に誇りを持ち次に向けての意欲が増した。

〔課題〕

- 食中毒への注意が最も重要。
- 学校側と日程決定の調整。
- 継続的な食材提供の心配。